

特集：城下町活性化の新戦略

城下町、古民家を、弱みから強みに変える

彦根も、篠山と同じ問題を抱えている。我々が学ぶべきは、「まちづくり全体の方向性」のもとで、「古民家再生」、「空き家活用」「開業者誘致」、「観光振興」を戦略的に連携させ、実際にプロジェクトチームを結成して当事者意識の高い若い人材を中心に活動させた点だ。

ここでは、城下町の弱みを強みに変える発想の転換と新結合によるイノベーション、地域内の合意形成の支援と地域外に対するプロモーションの展開などの革新的な組織的活動が行われている。

古い町でこそ、新しい感性との結合によって創造が生れる。濃密な人間関係は、うるさい反面とても温かい。それらが、新しい商店主にも、訪れる若い女性たちにも共感された。谷垣さんのような調整役を置いて住民の合意形成を支援した点も重要な成功要因である。(文責：堀部栄次)

11月3日(土) カフェ&ギャラリー オープン

ひこね街の駅

逋信舎

彦根市の花しょうぶ通り商店街にある逋信舎(ていしんしゃ)は、元郵便局舎として使われていた建物で、2011年に登録有形文化財に認定されました。滋賀県立大学の柴田いづみ研究室により昨年より順次修復と改装が行われてきましたが、11月3日、1階のコミュニティ・カフェと2階のギャラリーがオープンします。ギャラリーでは、真庭さんのコレクション「狼少年の映画ポスター展」が開催されます。

逋信舎は、インターネットラジオ局を併設し、スタジオから毎週日曜日午後2時から4時に、次の番組を



放送しています。みなさん聴いて下さいね。

▼『DADA ラジオ』(毎月第1・3日曜日、14:00~15:00) DADA ジャーナル編集人の杉原正樹さんと読者の江竜美子さんが、彦根の近代化遺産とその思い出を話します。

▼『CLOVER RADIO』(毎月第1・3日曜日、15:00~16:00) オススメする洋楽シリーズをメインに、CLOVERことクロが担当♪まったりゆったりと、日曜午後に素敵な番組をお送りします☆

▼『通信まちナビ!』(毎月第2日曜日、14:00~15:00) 大西雄大(聖泉大学3回生)と、世森浩平(聖泉大学3回生)がパーソナリティー。人・街・歴史をキーワードに、毎回素敵なゲストを迎えるトーク&ミュージック、生放送でお送りしている番組です!!

▼『ROCK BOTTOM』(毎月第2・4日曜日、15:00~16:00)日曜の昼下がりにには相応しくない音楽をかける音楽番組アナログキッドが、超ホットなライブ・レポートを中心に、異例のアイドルソングも交えながら1時間お届けします!

▼『歴箱-REKIBAKO-』(毎月第4日曜日、14:00~15:00) 歴史を愛する面々がくりなす、真面目ゆるいヒストリートーク。遠い昔へいざないます。

<http://www.fm-gig.net/radio.html> で配信。

彦根景観フォーラム 入会のご案内

彦根景観フォーラムは、まちづくりを楽しむNPOです。大学教員、建築家、会社員、商店主、公務員などが集まり、知恵と力を合わせて活動しています。年会費 6,000円 詳しくは事務局まで。

● **ブログ** <http://hikonekeik.exblog.jp> (彦根景観フォーラムで検索)

● **定例会** 毎月第3金曜日 午後7時~9時 ひこね街の駅「戦国丸」誰でも自由に参加できます。

● **お問合せ**：彦根景観フォーラム事務局 TEL 080-1416-5968 FAX 0749-27-1431

E-mail: hikonekeikan@hotmail.com まで



きらっと彦根 vol.30

彦根の魅力 ★ 再発見

彦根まちづくり誌 2012年10月20日 通巻30号 編集/発行 NPO法人 彦根景観フォーラム

それぞれの彦根物語

ひこね街の駅・寺子屋カ石

No.93 彦根の「殿様文化」を打破するには



しが彦根新聞の記者兼編集人の山田貴之さんは、昭和28年5月から平成元年5月まで36年間、井伊直愛氏が市長を勤め「殿様市長」と呼ばれた歴史などから、彦根の市民体質を「行政は殿様さど

りで、市民は殿様頼り」の「殿様文化」とされ、まちづくりや観光振興の弊害になっていると指摘された。そして、行政支配・依存体質を打破するには、民間や市民活動から強いリーダーシップをもつ首長や議員が出てほしいと結ばれた。

No.94 「がらたて」考



「がらたて」とは、小豆あんを、米粉または小麦粉の皮で包み、サルトリイバラの丸い葉ではさんで、蒸してつくるお餅。「がらたて」は、彦根市と湖北地方特有の方言で、多賀町では「ほんがら」という。この方言を、滋賀大学教授の金子孝吉さんは徹底的に調べ、「がらたて」がサルトリイバラを指すこと、同じサルトリイバラを指す方言が尋常とは思えないほど多くあること、サルトリイバラの葉で包んだお餅の呼び名も非常に豊かであることを、各地のお餅の写真とともに紹介された。

特集 城下町活性化の新戦略

篠山からはじめる・篠山ではじめる

谷垣 友里・ROOT代表

平成24年9月2日(日)、彦根景観フォーラムと花しょうぶ通り商店街は、最近注目されている篠山市の活性化に活躍されている谷垣友里さんを招き、「ひこね街の駅・寺子屋カ石」で講演会を開催しました。

特集では、彦根と同じ城下町で、古民家を再生し新しい店舗を次々に開業させている革新的なしくみを紹介し、彦根での取り組みのあり方を考えます。

城下町の活性化をめざして



兵庫県篠山市は、神戸・京都・大阪から電車や自動車ですぐに行ける人口4万人の城下町で、中心部には、国指定重要伝統的建造物群保存地区(重伝建)がある。しかし、年間250万人にもなる観光客は、城址付近の2~3時間の滞在で、お土産を買おうと次の観光地に向かってしまう。

一方、重伝建地区にある河原町商店会は、幹線道路沿いの大型店に買物客を奪われ、活力が低下していた。多くの空き店舗、空き家が存在し、やがては解体され、町なみの崩壊につながると危惧されていた。

城下町の古民家を再生・活用し、特色のある店舗を展開して、観光客を回遊させ、地域の活性化を図れないだろうか。誰もがそう考える。(次ページへ)

特集：城下町活性化の新戦略

篠山からはじめる・篠山ではじめる

谷垣 友里 ROOT 代表

● ひこね街の駅「通信舎」

11月3日(土) カフェ&ギャラリー オープン
インターネット・ラジオ「通信舎」番組のご案内